

パトライト社殿製品との連携

連携製品：「NH-FV1 シリーズ」

ゾーホージャパン株式会社

2017年7月更新

■ 著作権について

本ガイドの著作権は、ゾーホージャパン株式会社が所有しています。

■ 注意事項

このガイドの内容は、改良のため、予告なく変更することがあります。

ゾーホージャパン株式会社はこのガイドに関しての一切の責任を負いかねます。

当社はこのガイドを使用することにより引き起こされた偶発的もしくは間接的な損害についても責任を負いかねます。

■ 商標一覧

記載の会社名、ロゴ、製品名の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。

なお、本ガイドでは、(R)、TM 表記を省略しています。

目次

NH-FV1 シリーズ側の設定.....	3
OpManager 側の設定.....	3
その他検証済み機種.....	4

本ドキュメントでは、ManageEngine OpManager とパトライト社「NH-FV1 シリーズ」との連携手順についてご説明します。

NH-FV1 シリーズでは、RSH または PRSH コマンドの実行により制御を行うことが可能です。

NH-FV1 シリーズ側の設定


- (1) NH-FV1 シリーズ管理画面にログインします。
- (2) 画面左側の「コマンド受信設定」リンクをクリックします。
- (3) RSH サーバ設定画面が表示されます。
- (4) RSH サーバ機能が有効になっていることを確認します。
- (5) 接続許可制限欄にて、RSH コマンド実行の送信元 IP アドレスと RSH コマンドのオプションで必要になる任意のログイン名（root など）を設定します。

OpManager 側の設定

- (6) rsh.exe を OpManager インストールフォルダ直下に配置します。

例：C:\ManageEngine\OpManager\bin\rsh.exe

（PRSH をインストールしている場合には不要です。）

- (7) OpManager にログインします。
- (8)  [設定] タブ > [監視] > [通知] リンクをクリックします。
- (10) [追加] > [プログラム実行] をクリックします。

通知プロファイル



システムコマンドプロパティ

コマンド

C:\ManageEngine\OpManager\bin\rsh

プログラム引数

192.168.10.1 -l root alert 199999

メッセージ変数

引数変数の選択

図：[設定] タブ - [監視] - [通知] - [プログラム実行] 画面

(11) プロファイル詳細設定欄にて次の設定を行います。

項目	設定内容
プロファイル名	適切なプロファイル名を入力します
コマンド	RSH を入力します(絶対パスを指定します) (PRSH をインストールしている場合には PRSH を入力します。)
プログラム引数	<(5)の IP アドレス> -l <(5)のログイン名> alert <オプション 秒数> 例: 「図: [設定]タブ - [監視] - [通知] - [プログラム実行]画面」参照

alert 用のオプション[形式: rygbcz]についての説明

種類	説明
rygbcz	表示灯の点灯/点滅, ブザーの消音/ 吹鳴
r	0: 赤色の消灯, 1: 点灯, 2: 点滅, 9: 変化せず
y	0: 黄色の消灯, 1: 点灯, 2: 点滅, 9: 変化せず
g	0: 緑色の消灯, 1: 点灯, 2: 点滅, 9: 変化せず
b	0: 青色の消灯, 1: 点灯, 2: 点滅, 9: 変化せず
c	0: 白色の消灯, 1: 点灯, 2: 点滅, 9: 変化せず
z	0: ブザーの消音, 1: 吹鳴パターンその 1, 2: 吹鳴パターンその 2, 9: 変化せず
秒数	指定秒数後(0-99)に表示灯とブザーをコマンド実行前の状態に戻す 但し、秒数が 0 あるいは指定されない場合は、コマンド実行前の状態に戻さない

(例 1: RSH 192.168.10.1 -l root alert 199999→赤色点灯、他は変更なし)

(例 2: RSH 192.168.10.1 -l root alert 991999 30→緑色点灯後、30 秒後に実行前の状態に戻る。

他は変更なし)

(12) 設定が終わったら、[次へ]ボタンをクリックします。

(13) プログラムを実行する条件を設定し、設定した「通知プロファイル」を監視対象装置に関連付けます。

これ以降の設定方法は、OpManager の操作マニュアル「ユーザーガイド」手順 6 以降をご参照ください。

http://help.opmanager.jp/run_program_v12

その他検証済み機種

NHC-3FB

Signal Tower NHE-3FB 型

Signal Tower NHM-3FB 型

*基本的に RSH サーバー機能をサポートする機種は、上記手順にて連携できます。

OS が Linux の場合、内部 RSH を使用します。

以上